



片付けの手順を伝える松本さんと仕分けする児童ら

6/22月 「片付け」の出前授業、宇土東小で整理収納アドバイザー、松本結さん

宇土市を拠点に活動する整理収納アドバイザー、松本結さん(35)が宇土東小学校の1年生に「片付け」をテーマに出前授業をしました。松本さんは「引き出しの中の物を家に持って帰る物と、教室に置いていてもよい物に分け、ごみは捨てましょう」と助言。児童たちは教科書や、消しゴム、折り紙の切れ端、汚れたマスク、教材プリントなどを取り出して分けました。「判断に迷ったら先生に尋ねよう。普段から片付けておくと、好きに使える自由な時間が出来ます」とアドバイス。松本さんは宇土市以外でも、片付けを分かりやすく伝える出前授業にボランティアで取り組んでいます。



丸山哲朗さん(左)

6/15月 寄付をいただきました

緑川地区にお住まいの丸山哲朗さんから、多額の寄付をいただきました。丸山さんは新市政の施策に何らかの形で貢献できればと寄付金を寄贈されました。今回いただいた寄付金は、誰もが安心して暮らせるまちづくりや、未来を担う子どもたちの支援など、市政全般に大切に活用させていただきます。



宇土市副市長就任挨拶

の お せい ちろう
野尾 晴一郎(62)

1963年生まれ。宇城市出身。宇土高校卒業。1987年に熊本県庁に入り、総務や土木、教育など幅広い分野の業務に携わり、経験を重ねてきた。2024年度末に県庁を役職定年し、今年6月30日まで県立図書館の図書館長として勤務。7月1日に宇土市の副市長に就任。

このたび、市議会におきまして選任の同意をいただき、7月1日付で副市長に就任いたしました。身に余る光栄であるとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

私はこれまで県職員として、さまざまな行政分野に携わり、県政の発展と県民福祉の向上に努めてまいりました。このたび、ご縁をいただき、副市長として宇土市政に携わる機会をいただきましたことを大変光栄に感じております。これまで培ってきた知見を生かし、市長を補佐しながら、宇土市のさらなる発展に全力で取り組んでまいります。

現在、全国的に少子高齢化や人口減少が進む中、本市においても担い手の減少、社会保障制度の持続、産業振興、子育て支援、地域コミュニティの維持など、多くの課題に直面しています。一方で、宇土市には豊かな自然や歴史・文化、交通の利便性など、多くの魅力と可能性があります。こうした地域の強みを最大限に生かしながら、未来につながる持続可能なまちづくりを進めていくことが重要であると考えています。

市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、地域の実情をしっかりと把握しながら、市職員と力を合わせ、「宇土に住み続けたい」「宇土に住んでみたい」「宇土に戻りたい」と思っていたいただけるまちづくりに全力を尽くしてまいります。

微力ではございますが、市長、市議会の皆様、市職員、そして市民の皆様との信頼関係をしっかりと築き、市政の発展と市民福祉の向上のため、誠心誠意努力して参ります。今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のますますのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、就任のごあいさつといたします。



「宇土市建設工事表彰」を受賞された皆さん

6/26金 優秀な建設業者9社を表彰

市が発注した工事を優秀な成績で完了した建設業者を表彰する「宇土市建設工事表彰」を行いました。令和7年度中に竣工検査を行った97件の工事の中から、部門ごとに次の事業者を表彰しました。

【土木・舗装工事の部】最優秀賞 ㈱渡邊建設 **優秀賞** ㈸山本建設、㈱ロッケン、㈱川口登建設、㈱飽南産業 宇土営業所、㈱吉田組

【建築・電気・機械・管工事等の部】最優秀賞 ㈱平田建設 **優秀賞** ㈸吉野商会、㈸プラムテック

【優良工事の部】最優良工事 令和6年度 都市計画道路 北段原線函渠築造工事 請負者 ㈱渡邊建設



宇土小学校上塚浩一郎校長(左)と宇土地区行政区長会の皆さん

6/25木 幼稚園、小中学校の図書購入費に宇土地区行政区長会、昨年に続いて

宇土地区行政区長会メンバーが市立鶴城中学校、宇土幼稚園、宇土小学校、宇土東小学校を訪問。校長、園長へ図書購入費を寄付しました。この取り組みは、同区長会が「子どもたちにいろいろな本を読んでほしい」との願いから、昨年から始めたものです。宇土小で行われた寄贈式では上塚浩一郎校長が「とてもありがたいです。子どもたちもたいへん喜ぶでしょう」と謝辞。区長会メンバーも「お役に立てて、うれしい。たくさん本を読んで、学んでほしいですね」と話していました。



手作りカレーを味わう園児と「たんぼの家」の高齢者

6/18木 手作りカレー振る舞う、花園幼稚園の園児お年寄り「とてもおいしい!」と舌鼓

市立花園幼稚園の園児48人が、近くの介護サービス事業所「たんぼの家」のお年寄り18人に手作りのカレーライスを食べ振る舞いました。食育の一環として、園児たちは毎年、野菜(タマネギ・ニンジン・ジャガイモなど)を栽培し、収穫・調理を体験しています。採れた野菜を食材にカレーライスでおもてなしをしようと企画。教諭らのサポートでお米を炊いたり、包丁で野菜を切ったり、鍋で炒め、煮込んだりと本物のシェフ顔負けに腕をふるいました。園児たちが心を込めて作ったカレーに、招待されたお年寄りたちは「とてもおいしい!」と満面の笑み。園児たちもとてもうれしそうでした。





ロープ結索の手順を学ぶ救難所員ら

7/5 水難事故防止のために知識と技術を得る 宇土救難所水難訓練

網田コミュニティセンターにて、宇土救難所水難訓練を実施しました。熊本海上保安部や宇城広域連合北消防署の指導のもと、救難所員（宇土市消防団員）が参加し、水難事故防止に関する動画視聴や救命索発射銃の取り扱い訓練、救急法講習、ロープ結索訓練等を実施しました。水難事故は、特殊な環境下において迅速かつ的確な活動が求められます。さらなる知識と技術の向上に努め、水難事故防止に尽力していきます。



全国大会へ出場する花園ハンドボールクラブの皆さん

7/3 花園ハンドボールクラブ 全国大会へ出場

花園ハンドボールクラブの皆さんが市役所を訪れ、全国大会への出場を光井市長に伝えました。キャプテンの平江皆美選手は、「全国大会で優勝できるよう頑張ります。応援よろしくお願いします」と力強く意気込みを述べました。これに対し光井市長は、「練習は大変かもしれませんが、将来必ず役に立つときがきます。指導者や保護者への感謝を忘れず、思い切りプレーしてください。良い報告を楽しみにしています」と選手たちへ激励の言葉を送りました。出場する第39回全国小学生ハンドボール大会は、7月30日から京都府で開催されます。



訪れた市民に廃食油回収を勧めるJAL職員

6/30 JALが廃食油回収、航空燃料に再生へ スーパーフレッシュくまい、県内初の試み

家庭から出る廃食油の回収に取り組んでいるJAL（日本航空）はスーパーフレッシュくまい宇土本店（宇土市本町5、熊井幹夫社長）で、廃食油を入れる容器（1ℓ入り）を先着50人にプレゼントしました。JALの「すてる油で空を飛ばう®プロジェクト」の一環で、回収した家庭系廃食油を持続可能な航空燃料（SAF）の原料として生かします。熊井社長が「環境問題の解決に役立ちたい」とJALと連携、県内初の試みです。環境問題に力を入れている宇土市も市内に回収拠点を設けて再利用に努めています。



ALSOK熊本支社専門スタッフの話に聞き入る花園小の児童ら

7/14 花園小で防犯教室、ALSOKが指導 ブザーの使い方など、不審者対応学ぶ

市立花園小学校（岩下愛校長）で防犯教室が開かれ、不審者から身を守るポイントを学びました。登下校時や放課後に不審者からの被害を防止し回避する能力を養い、防犯意識を高めてもらおうと企画。警備や防犯セキュリティ事業を展開するALSOK熊本支社の専門スタッフを講師に4～6年生が参加しました。「防犯ブザーはむやみに鳴らさない。いざという時に電池切れになり、いたずらと思われて助けてくれない」「不審者が来たら、何よりもまず逃げて、みんなに知らせて」などと助言すると、児童らは真剣な表情で聞き入っていました。



熊本ヴォルターズ澤邊選手（左）

7/6 熊本ヴォルターズ・澤邊選手、支援に感謝 宇土市長を表敬、宇土への思い熱く語る

プロバスケットボールチーム「熊本ヴォルターズ」で活躍する宇土市出身の澤邊圭太選手（31）が光井市長を表敬訪問。2026―27シーズンに向けての決意を述べ、日ごろの支援に感謝しました。澤邊選手は「地域活動にも力を入れ、ファンが増えるように努力したい」と話し、フルーツなど豊かな産品や人と人が深い絆でつながる「宇土・熊本の魅力を発信したい」と熱く語りました。これに光井市長は「市民を挙げてますます応援できる環境を整えていきたい」とエール。この後、網田コミュニティセンターへしとらずを訪ね、地元の人々と交流を深めました。



講師の舩田さんのお手本を真剣に見つめる参加者

7/1 「男の料理教室」初開催、ハヤシライスに挑戦 今後は月1回を予定、市西部老人福祉センター

市西部老人福祉センターで「男の料理教室」が開かれました。多くの男性に施設を利用してもらおうと初の企画。宇土の「クッキングパパ」こと舩田美智雄さん（67）を講師に3人が参加、ハヤシライスを作りました。牛肉や玉ねぎを切って炒めて、ケチャップやウスターソースなどで煮込みました。味は抜群で参加者は「わが家でやってみよう」と自信満々。舩田さんは「玉ねぎから水分が出るので味見をして塩、コショウを足して」「包丁やまな板は常に清潔に保ち、衛生面には十分注意を」とアドバイス。今後は月に1回程度開く予定。センター☎（27）1688へ。





住吉海岸公園を清掃する参加者ら

7/20月祝 住吉海岸公園清掃で未来を明るく未来ヒーローProjectによる「TREASURE BEAT HUNT」開催

住吉海岸公園周辺で、市民団体「未来ヒーローproject」による体験型環境イベント「TREASURE BEAT HUNT」が開催されました。清掃活動には約70人が参加し、38袋分のごみを回収。その後は、竹あかりの点灯や音楽ライブ、LEDランタンのセレモニーが行われ、夕暮れの長部田海床路で環境保全と地域交流を楽しむひとときとなりました。「未来ヒーローproject」の古澤祐子代表は、「清掃活動やイベントを通して、子どもたちにきれいな長部田海床路の景色を未来に残していきたい」と話しました。



ヨット試乗体験会の様子

7/19日 ヨット試乗体験会

宇土マリーナで、宇土市子ども会連絡協議会主催のヨット試乗会が行われました。当日は、7人の子もたちが参加し、ロープワークの講習、ヨットの操作方法や各部位の役割について説明を受けました。

その後、熊本大学体育会ヨット部員の協力のもと、2人1組でヨットに乗船しました。海の上では実際にヨットの操作を教わりながら、沖合1キロ付近まで帆走しました。

はじめは、海の上で緊張した様子の子もたちも、終わるころにはにこやかな様子で、日常では体験できないヨットの操縦を楽しんでいました。



商品開発について話し合う東海大の学生と網田小の児童ら

7/14火 肥後銀行マン、東海大学生を講師役に 網田小・中学校で特別授業、リアルな経済学が

市立網田小・中学校で「リアルな経済学」を学ぼうと「金融・マーケティング教育」の特別授業がありました。両校は市教委の「キャリアスキルアップ研究指定校」として、実社会に直結した教育に取り組んでいます。東海大の学生がサークル活動の経験を生かし、商品づくりの考え方などを分かりやすく伝え、「商品開発にあたっての会議は最も伝えたいことを意識して、班の全員が内容を理解しよう」とアドバイス。また、肥後銀行金融資産コンサルティング部の担当者が全国的に増えている特殊詐欺について解説。キャッシュカードすり替えの手口を実演して見せました。



7/21火 新農業委員・農地利用最適化推進委員の就任

令和8年7月19日の任期満了により、新農業委員・農地利用最適化推進委員が就任されました。農業委員の会長に境委員、会長職務代理者に小森委員が互選されました。任期は令和11年7月19日までです。

農業委員名簿(敬称略)

宇土地区	井上ルリ子(本町三丁目)
花園地区	那須千代(岩古曾町) 安田鷹嗣(松山町)
轟地区	小森公明(石橋町) 上村博文(神合町)
走潟地区	齊藤栄一郎(走潟町) 重元太郎(走潟町)
緑川地区	境 良一(恵塚町)
網津地区	本田英二(住吉町) 江副龍二(網津町)
網田地区	野田秀則(下網田町) 田中一昭(赤瀬町)

農地利用最適化推進委員名簿(敬称略)

中央地区	谷山次則(神馬町) 福島 至(三拾町)
	小田健夫(神合町)
花園地区	中山茂樹(花園町) 橋本有加里(岩古曾町)
走潟地区	田代敬信(走潟町) 田代宗一郎(走潟町)
緑川地区	長満辰典(城塚町) 今村喜久男(新開町)
網津地区	近藤 直(住吉町) 本田善尚(網津町)
網田地区	河野敏信(下網田町) 石本尚志(下網田町)



農業委員の皆さん



農地利用最適化推進委員の皆さん



みんなで制作した「つくりもん」をPRする宇土小3年生の皆さん

7/16水 子どもたちの手で未来へ受け継ぐ伝統！ 市内3つの小学校で「つくりもん」制作

夏の風物詩「うと地蔵まつり」の名物である「つくりもん」の制作に、昨年に引き続き市内3つの小学校(宇土小、花園小、宇土東小)の児童たちが挑戦しています。市立宇土小学校では、3年生4クラスがそれぞれ、船場橋や人気漫画「ONEPIECE(ワンピース)」のキャラクタージンベエ、アジサイ、熊本城の宇土櫓を製作。船場橋の製作に携わった井上伊吹さんは、「牛乳パックに、コメノリを使って新聞紙を貼り付けるところが難しかったです。みんなで一緒に作ることができて楽しかったです。」と話しました。完成した作品は、8月23日(日)、24日(月)に市役所玄関前に展示される予定です。



市民のひろば



うと地蔵まつり2026 ～祭りがつなぐ地域の未来～

一般社団法人宇城青年会議所では、地域の子どもたちが祭りの中で主体的に参加し、祭りや地域との一体感を感じられる機会を創出することを目的に、8月23日はスーパーカーの展示、24日にステージイベントを企画しています。ご家族やお友達とぜひお越しください！

- ▶日時 8月23日(日)、8月24日(月)
 - ▶場所 カメヤ本店 駐車場
 - ▶対象 宇土・宇城地域の子どもたち、若い世代、地域住民、祭り来場者
- 宇城青年会議所
☎(22)2814



第50回 NPO 法人幸サポート主催 婚活セミナー&結婚個人相談会

結婚を考え始めた人から、まず話だけ聞いてみたい人まで気軽に参加できる婚活セミナー&結婚相談会です。あなたの一歩を応援します。

- ▶日時 9月6日(日)
1部 午前10時～ 2部 午後1時～
 - ▶場所 宇土市中央公民館(宇土市民会館前)
 - ▶参加費 無料
 - ▶予約 参加には予約が必要です。下記メールアドレスまたは電話にて、氏名、年齢、連絡先をお知らせください。親御様からの相談も承ります。
- ☎090(1089)2565
✉zinsei60@gmail.com



混声合唱団「ピッコロコーロ草ひばり」 団員募集

宇土の小さな混声合唱団です。岩代和武先生のご指導のもと和気あいあいと練習しています。来年のコンサートに向け皆で頑張っています。団員募集中です。ぜひ一緒に歌いませんか。また見学はいつでもOKです。

- ▶日時 毎週水曜日 午後1時30分～3時30分
 - ▶場所 宇土中央公民館
 - ▶対象 男女どなたでも
 - ▶募集人数 何人でも
 - ▶料金 月額3,000円
- ☎ピッコロコーロ草ひばり
☎090(9400)1514 (玉村慎理子)



おうだ駅夏まつりを開催します

【列車に乗ってまつりに行こう！】をコンセプトに始まった『おうだ駅夏まつり』。何と言っても“子どもが主役”。3回目の今回は、食、遊、パフォーマンスなど楽しみが満載。ふるさとの夏をお届けします。

- ▶日時 8月15日(土)
午後6時～
- ▶場所 網田駅前広場
- ▶主催 駅夏実行委員会
- ▶後援 網田地区振興会
NPO 法人網田倶楽部
- ▶協賛 地区企業各社



広報うと「市民のひろば」掲載募集

「市民のひろば」は、市内で行われている自主的・公益的な市民活動を応援するコーナーです。イベント情報や会員募集などを掲載しています。掲載を希望される団体・個人の皆さんは、掲載基準をご確認のうえ、お申し込みください。※営利目的の掲載はできません。☎まちづくり推進課 広報プロモーション係 ☎(27)6608



Follow Me

まちの情報、SNSでも発信しています。最新の情報をチェック！



YouTube



うとのできごと



株式会社西日本建設コンサルタンツ 代表取締役 田中 幸成 様(左)



共栄建設株式会社 代表取締役社長 毛利 洋 様(左)

企業版ふるさと納税によるご寄付を いただきました

本市の地方創生の取り組みにご賛同いただき、企業の皆様よりご寄付をいただきました。心より感謝申し上げます。いただいたご寄付は、地域課題の解決や地域活性化のため、大切に活用させていただきます。企業の皆様からの温かいご支援は、宇土市の未来を支える大きな力となります。今後とも宇土市へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



地域力創造アドバイザーに就任した 森昭二氏

総務省 地域力創造アドバイザーを招聘

宇土市では「地域運営組織プロジェクトチーム」が始動するにあたり、地域力創造アドバイザーとして、森昭二氏(株式会社博報堂プロダクツ)を招聘しました。今後、地域運営組織設立推進に向けた業務や地域活性化に係る業務等に携わっていただく予定です。

森氏はこれまで、徳島県那賀町にて、「地域活性化起業人」として3年間従事され、その中で持続発展なまちづくりのため、町が抱える構造的課題に対し、民間企業での実務経験を生かした実践的なアプローチで解決に取り組んでこられました。



株式会社モアコンセプト 代表取締役 田中 慎二 様(左)



株式会社タケダコーポレーション九州 代表取締役 武田 匡弘 様(左)

寄付企業様の紹介(順不同)

まちづくり分野 多目的市民交流施設整備事業

- ・株式会社西日本建設コンサルタンツ
- ・株式会社モアコンセプト
- ・共栄建設株式会社
- ・株式会社熊本建設コンサルタント
- ・株式会社タケダコーポレーション九州
- ・飯塚電機工業株式会社

スポーツ分野 ジュニアスポーツ応援事業

- ・株式会社三浜測量設計社



宇土駅側に設置されているリサイクルステーション

カインズ熊本宇土店で不要な古着を回収

宇土市では、持続可能な社会を目指し、資源ごみの回収に力を入れています。そのような中で、市内でも資源ごみの回収に力を入れるお店も増えてきています。カインズ熊本宇土店では、不要になった古着を回収しています。回収ボックスは、カインズ敷地内の線路側の入口から入って右側に設置されています。古着のほかにも、段ボール、新聞、雑誌も回収しています。回収時間は、カインズが営業している午前9時から午後8時の間です。カインズ熊本宇土店の西村店長は、「環境保護と地域への貢献を今後も続けていきたい」と抱負を述べられていました。